

# 平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成18年 2月16日

No.1552

## 超私の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
第2690地区ガバナー 延原 正

↑  
事務局  
↓

島根県出雲市平田町 2280-1  
平田商工会議所 2F TEL 0853-63-3232  
FAX 0853-63-5365  
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 大谷 孝 副会長 加藤喜久  
幹事 内田節夫 会計 加藤昇

## 例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第 1 5 5 2 回	松江市 藤原久子様	今どきの男と女のコミュニケーション
第 1 5 5 3 回	クリストファー・ミカル・イングラート様	
第 1 5 5 4 回		

## 出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
5 0	4 4	6	8 8 . 0 0	8 6 . 0 0

欠 席 者 山根・原田・三代・堀江・園山・西谷

## 幹事報告

1. 本日、Intercity Meeting (4/23(日)開催) の出欠表をお回ししております。  
特に入会3年未満の方は是非ご参加下さい。
2. 2006～2007年度「ロータリーの友」表紙の写真募集について  
○友紙の表紙の写真を会員の皆様から募集されます。
  1. テーマ 自由
  2. 〆 切 4/30
  3. 点 数 1人3点まで 詳細は事務局へ

## ス マ イ ル

飯塚大・田中浩 藤原久子様を講師にお迎えして。  
恒松 先週は石倉会員のスピーチありがとうございました。世界平和の為に語り継いで下さい。  
ロータリーの友に、モンゴルの写真が大きく掲載されました。  
大島浩 商工会議所、風力発電の署名運動に関して。  
高砂 平田自治会、風力発電。  
大谷 ロータリーの友、ロータリーアットワーク (P24) に当クラブの記事が出ているのを喜んで。  
渡部 木佐会員へ。先日、立派な掛軸を拝見させていただきました。(一幅チョウタイ)  
藤原久子様ようこそ、一畑寺ネットワークで、一度お邪魔しました。

3月2日例会受付当番

飯塚 詔夫 ・ 遠藤 栄 ・ 藤井 巖

- |                  |            |                  |
|------------------|------------|------------------|
| ★松江南クラブ (月)      | ★出雲クラブ (火) | ★平田RAC(第1・3水)    |
| ★出雲中央クラブ (月)     | ★松江クラブ (水) | ★松江東クラブ (木) 2/23 |
| ★松江しんじ湖 (火) 2/21 | ★大社クラブ (水) | ★出雲南クラブ (金)      |

## 会長挨拶

先週の石倉さんの「シベリア抑留」の話は、今日の日本の隆盛を思うとき、わずか60年前のことであり、胸が痛みました。

その2日後の11日が建国記念日でした。その日、国旗を手にした私は石倉さんの話を思い出しました。

戦陣に散り、異国で倒れた人達の見た国旗、国歌と今の国旗、国歌は全く同じでも、それへの思いは全く違っていること。その人達は「天長節」で「建国の日」ではありません。わずか60年前の事が昔話となつてはならない。平和のありがたさ、戦争のむごきの為風化させてはならぬと感じ、改めて日本のあゆみ、近現代のあり様、歴史を振り返る気持ちが強くなりました。その入門書、スタンダードとして、今の中学生の歴史の本を読みました。いろいろな感慨がわいてきました。今の中学生には私達が見聞したこと、経験したことが既に歴史であり彼等には後世としての評価の対象であり、今の判断を違えてはならないと強く感じました。

また、各々の民族、国歌には各々の歴史、文化、伝統があり、それを踏まえての外交があります。最近是最も身近な中国・韓国など近隣諸国との関係にきしみがあつて、残念です。

歴史を学ぶことは大切です。そう言う意味からも石倉さんの話は私にあるインパクトを投げかけました。皆様にも日本の歴史を振り返られることをお薦めします。

## スピーチ

### 今どきの男と女のコミュニケーション

藤原久子様



色々な地域での少子化対策、主に結婚しない、出来ない人たちの問題を行政とともに取り組んで参りました。少子化問題の焦点は、結婚…出産…婚外子まで含んだフランス並みの施策へと変化しています。取り組んできた体験から申し上げれば、若い人達でコミュニケーションをはかる能力が乏しい人が増加していると思います。相手や時、場所に応じた言葉の使い分けが出来なくなっているのです。原因は様々ですが、ネットに代表されるバーチャルな世界への逃避、社会制度から見ても、個人情報保護法や、プライバシー問題など人と人との関係を結ぶのに、ハードルとなる又は尻込みさせるような事項も増えてきています。

若者たちの多くが単独の行動を好むのも地域や世代を超えたコミュニケーションを少なくしていると思います。今こそ昔の青年団的な活動を復活させるのが少子化・非婚化の対策となると思います。

又婿取り・家柄問題等田舎特有の問題もあります。結婚しない人達は、経済の問題・親の許しをもらうことなど努力してみる前から諦めて、結婚に至らない場合が大変に多いと思います。

